

## 5 学校生活

### 1) 学校生活を楽しいか

日本の高校生の約8割が「学校が楽しい」と回答し、4か国中最も高い。

「学校生活を楽しいか」をみると、「とても楽しい」と回答した者の割合は、日本が最も高く、米中韓を1割強上回っている。「まあ楽しい」を合わせてみると、日中韓とも7割強に対し、米国が6割強で最も低い。なお、無回答の米国の高校生が14.2%となっている（図5-1）。

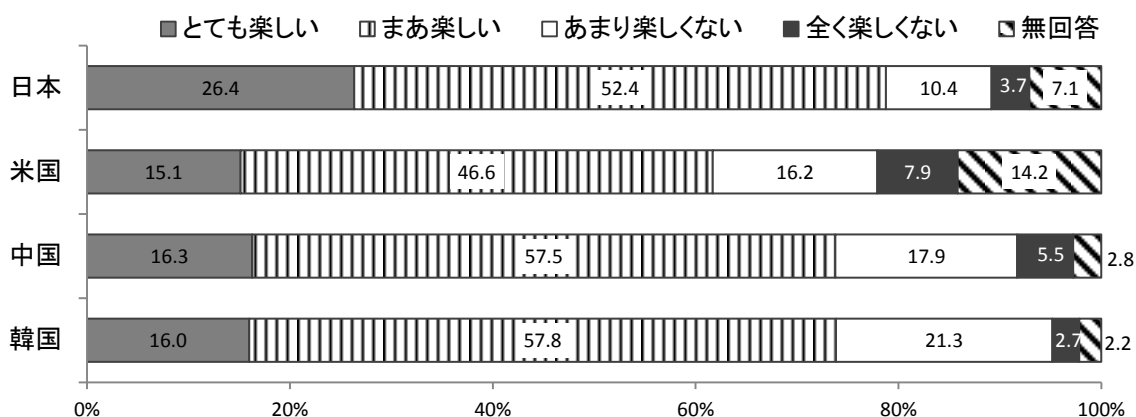


図5-1 今の学校生活を楽しいか

### 2) 学習や学校生活で大切なこと

日本の高校生は、部活動への参加を重視しているが、先生への尊敬、クラスのリーダーになりたいという希望が低い。米中の高校生は知識の獲得や応用及び思考・判断などの「学習力」を重視しているのに対して、韓国の高校生は友人関係を重視している。

学習や学校生活で大切なことについて、表5-1に示している13項目を挙げ、「とても重要」「まあ重要」「あまり重要ではない」「全く重要ではない」の4段階で回答してもらった。13項目を因子分析したところ、「常に新しい知識を取り入れること」「将来に備えて、いまはしっかり勉強しておくこと」「勉強したものを実際に応用すること」など、「学習力重視」と名付けられる因子1と、「恋愛すること」「親友をつくること」など、「社交力重視」と名付けられる因子2が抽出された。この2つの因子得点の平均値を国別でみると、図5-2のとおり、「学習力重視」の因子得点が最も高いのは中国で、次いで米国である。日本と韓国ではマイナスの得点となっている。「社交力重視」の因子得点が最も高いのは韓国で、次いで日本である。米国と中国ではマイナスの得点となっている。

表 5-1 学習や学校生活で大切なことの因子分析

|                          | 因子 1<br>学習力重視 | 因子 2<br>社交力重視 |
|--------------------------|---------------|---------------|
| ・ 常に新しい知識を取り入れること        | .748          | .103          |
| ・ 将来に備えて、いまはしっかり勉強しておくこと | .738          | .084          |
| ・ 勉強したものを実際に応用すること       | .713          | .117          |
| ・ 自ら考える力や判断する力を養うこと      | .708          | .141          |
| ・ 自ら進んで勉強すること            | .691          | .098          |
| ・ 先生の指導に従ってしっかり勉強すること    | .662          | .071          |
| ・ 先生を尊敬すること              | .591          | .141          |
| ・ 目指す大学の受験科目を中心に学習すること   | .504          | .096          |
| ・ 得意なものを見つけたり、磨いたりすること   | .438          | .365          |
| ・ 恋愛すること                 | -.263         | .704          |
| ・ 親友をつくること               | .152          | .670          |
| ・ 積極的に部活動に参加すること         | .258          | .629          |
| ・ クラスのリーダーになること          | .233          | .622          |
| 固有値                      | 4.039         | 1.955         |
| 寄与率                      | 31.1%         | 15.0%         |

因子抽出法: 主成分分析、回転法: Kaiser の正規化を伴うバリマックス法、抽出基準は固有値 1.0 以上

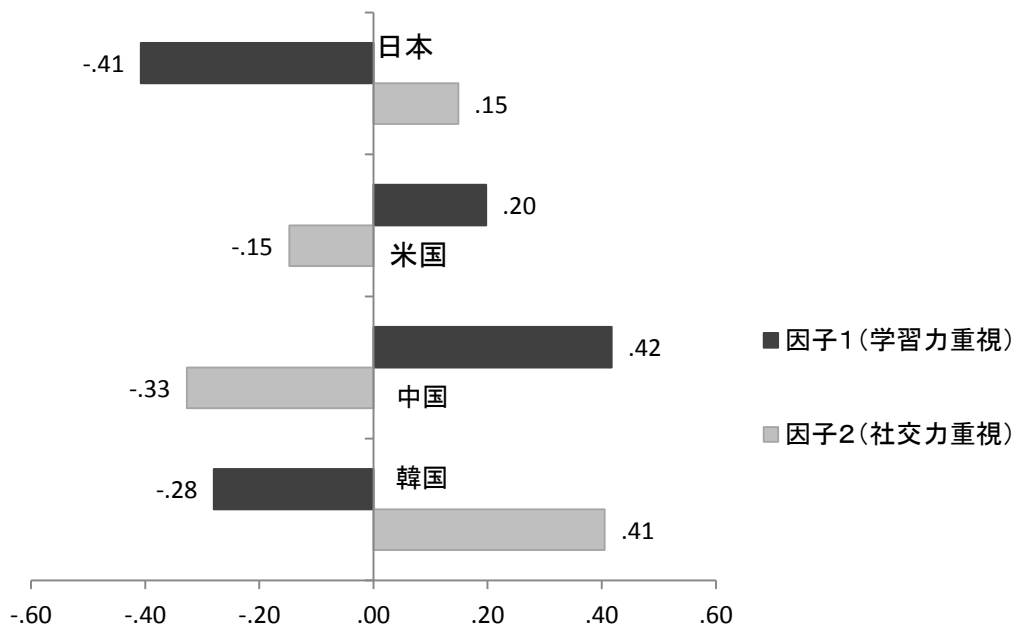


図 5-2 「学習や学校生活で大切だと思うこと」の因子得点の平均値

「学習力重視」因子である9項目について、「とても重要」と回答した者の割合をみると、「常に新しい知識を取り入れること」「自ら考える力や判断する力を養うこと」「将来に備えて、いまはしっかり勉強しておくこと」「勉強したものを実際に応用すること」「先生を尊敬すること」「先生の指導に従ってしっかり勉強すること」の割合が、中国と米国では65%以上と高い。そのほか、中国は「自ら進んで勉強すること」「目指す大学の受験科目を中心に学習すること」の割合も4か国中では最も高い。米国は、「得意なものを見つけたり、磨いたりすること」が日中韓に比べて高い。

日本は、「得意なものを見つけたり、磨いたりすること」「自ら考える力や判断する力を養うこと」の割合が65%以上となっているが、「先生の指導に従ってしっかり勉強すること」「先生を尊敬すること」の割合が米中韓に比べて低い（図5-3）。

次に「社交力重視」因子である4項目について、「とても重要」と回答した者の割合をみると、日本は、「積極的に部活動に参加すること」の割合が5割弱で4か国中で最も高い。韓国は、「親友をつくること」の割合が6割弱で4か国中で最も高い。「クラスのリーダーになること」は、米国と韓国が高く、日本が最も低い（図5-4）。

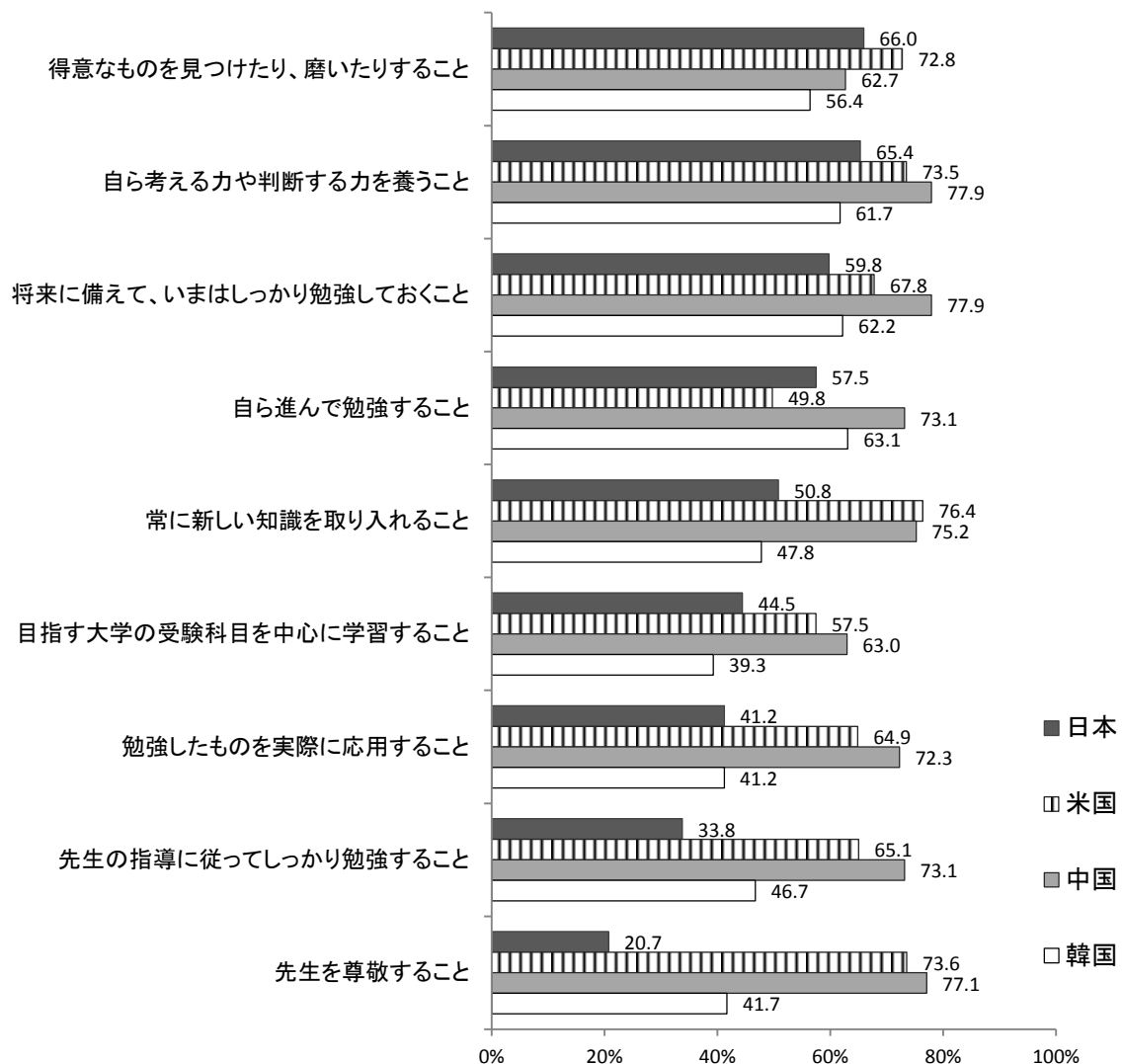


図5-3 学習や学校生活でどんなことが大切だと思うか（「とても重要」と答えた割合）

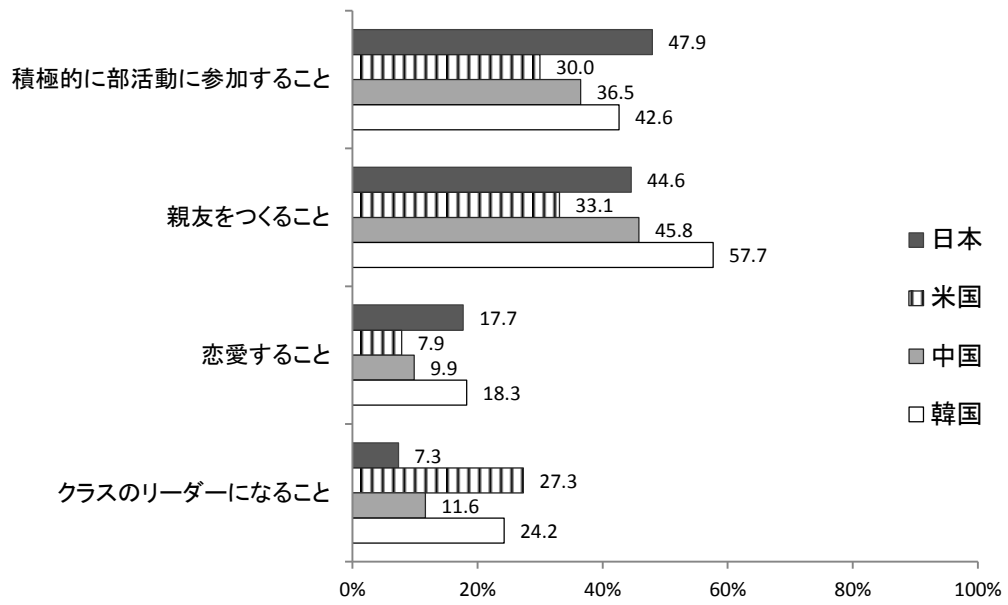


図 5-4 学習や学校生活でどんなことが大切だと思うか(「とても重要」と答えた割合)